

## 平成30年度宮崎空港航空機事故消火救難救急医療総合訓練 (宮崎県水難救済会より救難所が参加)

10月16日(火)宮崎空港南海岸において、宮崎空港消火救難救急医療緊急計画連絡協議会主催により、航空機事故が発生したとの想定のもと、関係機関が連携し消火救難活動及び救急医療活動等を円滑に行い、被害を最小限に抑えることを目的に関係機関258名が参加し訓練を実施した。

宮崎県水難救済会からは、宮崎県小型船舶安全協会救難所、PW安全協会救難所、宮崎ライフセービングクラブ救難所より救助艇及び水上バイク計7隻：12名が参加し、救助艇では要救助者を海上保安庁の巡視船へ引き継ぐ訓練、水上バイクでは要救助者を陸上搬送員に引き継ぐ訓練が行われた。

また、海上では航空自衛隊ヘリによる救助訓練、陸上では医療機関等による救急医療訓練も行われた。

近年、宮崎県では大きな航空機事故は発生していないが、定期的に関係機関が訓練を行うことで有事の際円滑に救助活動ができるよう努めて頂きたい。

【要救助者を救助艇から巡視船へ引き継ぎ】



【要救助者を水上バイクから陸上搬送員へ引き継ぎ】



【航空自衛隊ヘリによる救助訓練】



【医療機関等による救急医療訓練】

